

みょうが館

イベント

8月下旬に行われる
『大人気イベント！
みょうがの袋詰め放題!!』

能代名物である白神みょうがの収穫期に合わせ、みょうが館で毎年開催している、恒例イベント『みょうが袋詰め放題』。

会員が栽培した自慢のみょうがを、特価で購入できるイベントとして大人気のイベントです！

ぜひ皆様お越しください!!



▲旬のみょうがをご堪能下さい♪

おすすめ商品

- みょうが.....200~250円/200g
- 漬けナス.....200円/200g
- キュウリ.....100円/500g
- 赤寿司.....250円/1パック



みょうが



赤寿司

☆店舗紹介

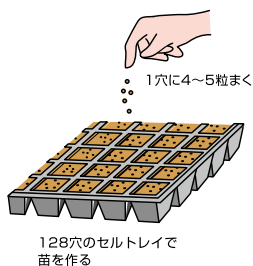
J Aあきた白神管内の農家による、自家生産物等の直売施設です。真心をこめて作った新鮮で安心・安全な農産物をお届けします。

お問い合わせ先：0185-58-3005

家庭菜園



春に先駆け長く楽しめるナバナ



128穴のセルトレイで苗を作る

育つにつれて間引き、本葉3枚のころ1本仕立てにする。畑に植え出すのは本葉4~5枚のころ



つぼみが大きく膨らんだら収穫する。開花してからでは遅い

種まきの適期は9月上旬から10月上旬です。9月初めに種まきすると10月中旬ごろ花芽を分化し、収穫始めは11月中旬ごろとなり、うまく管理すれば3月上旬ごろまで収穫し続けることができます。畑は早めに苦土石灰を全面にまき、よく耕しておき、元肥として良質の完熟堆肥と油かす、化成肥料を施しておくことが大切です。種まきは図のように、128穴のセルトレイに、1穴当たり4~5粒まきとし、育つにつれて間引き、1本仕立てとし、本葉4~5枚の苗に育て上げ、畑に植え出すのが良法ですが、畑にまき溝を作り、じかまきして育て上げることもできます。いずれにしても、条間40~50cm、株間30cmぐらゐの粗植にし、分枝を多く出させるよう心掛けます。追肥は草丈が20cmほどに伸びたころから収穫期にかける。15~20日ごとに3~

4回ほど行い、次々と良い脇芽が伸び、大きな花蕾が収穫できるように配慮します。アブラナ科の野菜の共通の問題ですが、生育中にアブラムシやコナガなどの害虫の加害を受けやすいので、発生初期に薬剤散布して防ぎます。収穫は途切れなく行われますので、収穫との関係をよく考えて、安全防除に努めましょう。育苗中や生育前期の草丈の低い場合には、トンネル状にネットやべた掛け資材を被覆するのも良い方法です。収穫は、花蕾が大きく膨らみ、開花直前ぐらいになったらに行います。全体の茎の長さは10~12cmが適当です。短く切り過ぎると、後から発生する花蕾数は多くなりませんが、細いものになりやすく、逆に長く切り過ぎると後から出てくる側花蕾数が少なくなったり、収量としては少なくなったりします。

